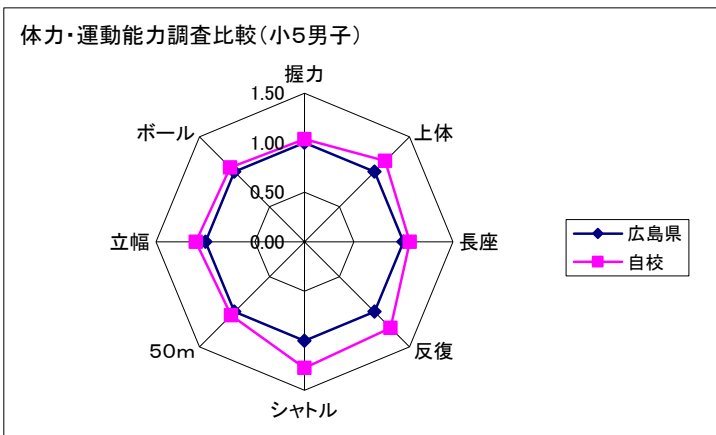
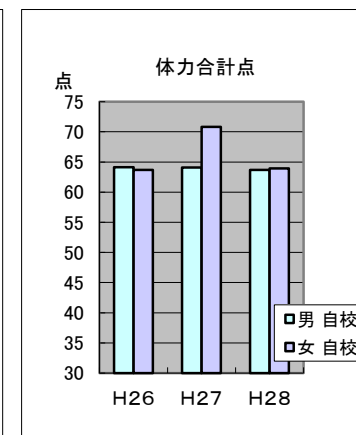
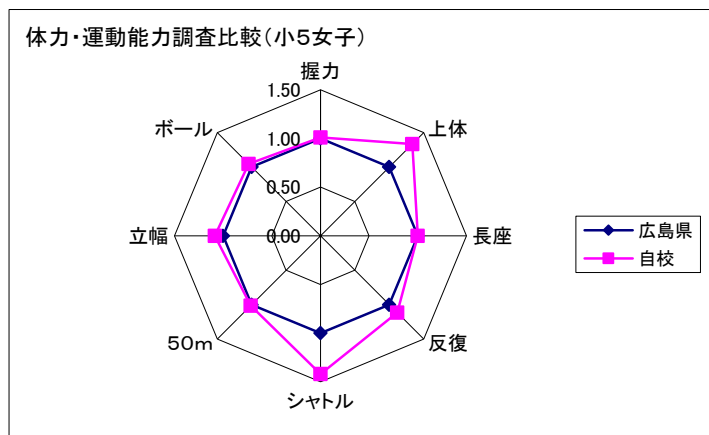


男子の体力合計点 学校 63.70点 県平均 56.61点



女子の体力合計点 学校 63.93点 県平均 58.35点



H28体力・運動能力調査の結果と分析

結果と分析 (全学年の状況も踏まえて記入すること)

① 50m走(呉市の課題種目)
 ・どの学年も、全国平均、広島県平均よりを上回る結果だった。今後も今の取組を継続していく。

② 20mシャトルラン(中学校区の課題種目)
 ・どの学年も、全国平均、広島県平均よりも10回程度も上回る結果だった。中学校区の課題として、今後も今の取組を継続していく。

③ 握力(本校の課題種目)
 ・3年生男子、1・2・3年生女子が、全国平均及び広島県平均を下回った。今後は、楽しみながら組織的に握力を高める活動や遊びを指導していく必要がある。

課題解決のための今後の取組及び数値目標

①呉市の課題種目 (50m走) 具体的な数値目標 (男子0.25秒, 女子0.25秒)	具体的な取組内容 ・体育の授業の準備運動等で、ビニールテープを用いた「しっぽとり」や「ねずみとねこ」などの走力向上を目的としたゲームを取り入れる。 ・体育の授業の中で、全力で走る運動を取り入れる。 ・スタートや走り方の姿勢などを意識するように指導する。
②中学校区の課題種目 (20mシャトルラン) 具体的な数値目標 (男女共にプラス3回)	具体的な取組内容(中学校区で1つ以上共通の取組を設定) ・中学校区で、体育の授業の前に、学年に応じて校庭の遊具を使ったサーキット運動を取り入れ、持久力を高める。 ・新体力テスト、なわとび、持久走などに取り組む前に、個人目標を設定させ、目標達成に向けた取組を意識させる。
③本校の課題種目 (握力) 具体的な数値目標 (男女共にプラス1kg)	具体的な取組内容 ・体育朝会や体育の授業に、友達同士で引っ張り合う運動や手押し車での競争など、握力を高める準備運動を紹介し、運動の機会を増やす。 ・握力向上週間を3学期に設け、教室に握力計を置き、計測の機会を増やし、意欲を高める。 ・家庭でできる握力向上の運動や遊びを啓発していく。

※具体的な数値目標(記録の伸びを数値化)